

森議員 それでは、通告に従いまして、質問します。牟岐町では地方創生活動のテーマとして、「教育と健康」を掲げています。中でも「健康」は町長も公約として強く前面に押し出されていたと記憶しています。平成27年から28年の2年間で教育の分野では約3,400万円、健康の分野では約400万円、ふるさと支援事業では約500万円、その他では約750万円、合計約5,050万円の経費が地方創生費用として計上されています。昨年、平成28年5月発行の広報むぎに掲載されていた地方創生についての今後の取り組みとして挙げられていたのは、「自然景観、町並み景観の整備と散策道の整備」、「定期的な能力開発イベント」、「訪問者の受け入れ体制の整備」、そして「以上を運営する組織の設立」の4点でした。自然景観については、町境の看板などについては、既に準備に取りかかっており、他にも渡り蝶「アサギマダラ」を牟岐町に呼び込もうと、住民有志が橋の畑や小学校校庭などにアサギマダラが香りを好むフジバカマを植え、秋にはたくさんの「アサギマダラ」が飛来し、人々の目を楽しませました。また、町並み景観、散策道の整備については、今後、早急な対応をお願いしたく思います。2つ目の「定期的な能力開発イベント」については、昨年10月に気功療法士インストラクターやライフキネティック公認トレーナーの育成講習会などが開かれていましたが、これによる成果や今後、具体的にどのような取り組みを行っていくのか、ご説明をお願いします。また、3つ目の「訪問者の受け入れ体制の整備」は、こういった現状なのか、こちらもお尋ねします。そして、4つ目の「以上を運営する組織の設立について」、こちら併せて上記のご回答とともに、どのような組織設立がなされているのか、これらの現時点での取り組みと成果をご回答をお願いします。

枅富議長 福井町長。

福井町長 地方創生の取り組みと成果についてですが、平成28年5月の『広報むぎ』に掲載されていた4つの項目は、地方創生事業として、町民の皆さんにご理解いただき、ご活用いただくために掲載させていただいたものです。その内容

としましては、旅行者向けの看板の設置、あるいは町内ウォーカーのための案内板の設置、あるいはトイレ、休憩所の設置等を行い、町内の至る所に町内外の方に歩いて行っていただき、その地域の物品の購入から飲食までしていただき町の活性化に役立てていただきたいとの計画で、国の交付金により整備するために作成したのですが、結果的には、看板設置、トイレ・休憩所等の設置に係るハード事業は全て採択されませんでした。国の補助限度額が示されていたことから、限度内であれば、計画に沿うものは事業採択されるものと思い、広報むぎに掲載したのですが、結果的には採択されず、事業進捗は非常に遅れている状況です。つまり、1番目の『自然景観、町並み景観の整備と散策道の整備』と、3番目の『訪問者の受け入れ態勢の整備』、及び4番目の『運営組織の設立』は、財源が確保されず進捗が遅れています。このようなことから、2番目の『能力開発イベントの実施』は、昨年、まず、気候療法とライフキネティックを牟岐町の特徴的な運動療法として継続的に実施するため、インストラクターとトレーナーの養成を行ったところです。気候療法については、ドイツではその効果が医療保険の対象として認められており、牟岐町は、海や山のオゾンを浴びやすい場所が多く、適地であるということで、今後、普及に向けた取り組みを実施して頂きたいと考えていただいていますし、ライフキネティックについても、若者には運動能力の開発に、高齢者には認知症予防に良いということですので、今後、特色ある運動療法として普及させていただきたいと考えています。牟岐町総合戦略計画の『教育と健康』のうち、教育については、県を通じ委託費が出ていることもあり、HLABが主導的に実施していただいています。健康については、主導的な団体に運営費等を出していないこともあり、現段階では、運営に係る組織づくりができていません。昨年、トレーナーの養成を行ったこともあり、何とか、今年度中に、事務所の位置を確保し、稼働して頂きたいと思っています。民間企業だけでなく、健康に係る組織としては、観光の一貫でも行いたいことから、現在、観光協会を自立した組織として法人化できるよう取り組みを進めています。以上です。

枅富議長 森議員。

森議員 再問します。費用対効果の観点から、本当は少しの費用で大きな成果と効果を上げることが望ましいのですが、現状は少し成果が出ていないと。町長、現時点で地方創生の取り組み、町長自身が評価するならば、100点満点でどれぐらいを評価されていますか。それと、町長の公約の中にこういった健

康、いろんな地方創生を全力で取り組んでまいります。そういう言葉もあります。また、今年度から計画を実行に移してまいりますと、こういうことを文書に書かれています。ぜひ思い切った計画をどんどん取り組んでいって欲しいと思います。今の1点だけ、町長の現時点の地方創生の評価、どれぐらいの評価をされているのか一つお伺いします。

枘富議長 福井町長。

福井町長 地方創生の評価というと、本当に難しいのですが、目的が交流人口の増加、そして雇用の増加、所得の増加ということですが、それぞれで評価ができると思うのですが、雇用の増加、所得の増加というところは、本当に進んでいないのだと思います。全国的には有効求人倍率が上がったとかいうことですが、県南部で1.09%ですか。全体としたら雇用率は上がっているということですが、牟岐町においてはどうかということになると、非常に心細いということです。交流人口の増加ですが、これは出羽島がアート展を開催したこともあり、あるいは、伝建に選定したこともあり、徐々に訪れる方が増えてきていると考えています。今、森議員ご質問の健康に関して申し上げますと、現時点では殆どできていないということです。健康というのは、全ての方が将来有意義な人生を送るためにも必要なものと考えていますので、何とか実行に移すというか、成果のあるものを期待しているのですが、なかなか、地方創生というのは、官民連携して行う必要があります、いくら官が号令をかけても民の方が動いていただかないと何ともならない。高慢な言い方ですが、逆に民間が主導でやっているところは、非常に効果が出ているのです。神山町、美波町のように民間が主導で動いているところ、それを行政が支援するところは効果が上がっているということですので、何とか民間の方が行動を起こしていただけるような取り組みをしてまいりたいということです。今はこれまで観光協会が特に動きがなかったもので、何とか観光協会が牟岐町全体の産業振興のために行動できるような活動できるような組織にしたいという

ことで、今、鋭意取り組んでいただいているところです。まだ成果と言えるものは出ていませんけど、全て途中の段階ですので、評価はなかなか何点と言えるものはありません。以上です。

枅富議長 森議員。

森議員 今、お聞きしますと、地方創生、本当は大事な牟岐町を創生するための地方創生なので、これはスピード感をもってやっていかないと、町長が言われます存続、牟岐町のそういう面に関わってくるので、ある言葉を引用させて、ある言葉にこういう言葉があります。「夢なきものに理想なし、理想なきものに信念なし、信念なきものに計画なし、計画なきものに実行なし、実行なきものに幸福なし」こういう言葉があります。町長もこの文書の中に全力で取り組んでいくと、先程も計画を実行に移すという文書もありますので、ぜひこういう問題はスピード感をもって全力で取り組んでいって欲しいと思います。以上で質問を終わります。